

御寄附をいただいた企業へのインタビュー



「文化財通信」では、寄附者様へのインタビューを通じて、京都の文化や文化財に対する想い、そして「文化財を守り伝える京都府基金」へのご意見などをお聞きしています。

今回は、高いデザイン性と品質により、ハリウッド女優をはじめ国内外の人々を魅了し続ける、京都が誇るジュエリーメーカー「株式会社俄（にわか）」広報部の方にお話を伺いました。

○ 株式会社俄とは、どのような企業でしょうか。

当社は、「誇りある物作り・誇りある物売り」をビジョンに掲げ、ジュエリーブランド「NIWAKA」や「LUCIE」を国内外で展開、ハイジュエリーからファッションジュエリー、ブライダルジュエリーまで幅広い商品を揃え、商品企画から製造、販売まで行っています。

国内では、ブライダルジュエリーの人気が高く、18の直営店と50の正規取扱店を展開しています。

また近年は海外での評価が高まっており、アジア圏には直営店を展開、今後は北米市場へも進出予定です。



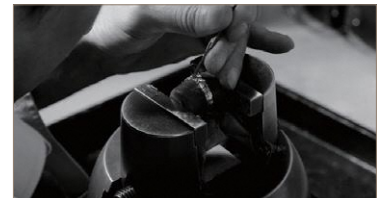
舞妓が身につける帯留め「ぼっくり」

○ 文化財を守り伝える京都府基金へ御寄附いただいた理由について教えてください。

ジュエリーブランド「NIWAKA」は、京都で生まれ、妥協を許さないクオリティと高いデザイン性を常に追求しながら、「花匠の彫」など京都の文化から着想を得た製品を創り出してきました。

このため、「京都に育てられた」という気持ちが強く、地域への恩返しとして、京都の伝統を守り、伝え、受け継いでいくための活動に賛同し、支援をさせていただくことは当然と考えております。

また寄附以外にも、伝統技術を守るための商品開発と人材育成に取り組んでおり、平成29年からは壬生寺様の「地藏菩薩半跏像」の鋳金具制作を担当させていただきました。



「花匠の彫」制作の様子



人気ジュエリー「花匠の彫」

○ 人材育成の意義や今後の展開についてお聞かせください。

近年、寺社仏閣や舞妓の装飾品の修繕や制作など、高度な金属加工の技術を持つ職人が減少していますが、当社では、12年前に伝統的な彫金技術を持つ職人を社員に迎え、その職人の指導のもと、3名の社員が鋳金具の製作技術を論理的かつ実践的に学んでいます。

長年、培われてきた伝統技術の灯を絶やすことがないように、技術を継承する人材の育成とともに、企業として、その技術を生かしたジュエリーを生み出し、発信したいと考えております。

また今後、歴史的価値の高い美術品の復元新調等において、携わっておられる技術者の方々からの御指導も仰ぎながら、当社の技術がお役に立つ機会があればと考えております。